

2019年07月03日 7面

文字サイズ 小 中 大 ブックマーク 印刷 

安全大会／大林道路関東支店／決められたルールを守って



大林道路関東支店は6月27日、2019年度安全大会を東京都千代田区の学士会館で開いた＝写真。同社や協力会社組織・安全衛生協力会から約300人が参加し、1年間の無事故無災害に向けて決意を新たにした。

冒頭、主催者を代表してあいさつした池田朗専務執行役員関東支店長は「決められたルールを守ること、起きてしまった災害事例を共有し、対策を水平展開すること、地方の安全衛生活動を活性化させること。この三つを基本方針に、災害防止に努めてほしい。協力会社の皆さんと互いに手を取りながら、持続可能な建設業として発展していきたい」と話した。

続いてあいさつした安全衛生協力会の伊田雄二郎会長は「大林道路からはネックウオーマーや冷感アンダーウェアなどを支給してもらった。期待に応えるべく、現場で一つ一つの作業を丁寧にするよう心掛け、事故がないようにしていこう」と呼び掛けた。

来賓として出席した福本勝司社長は「安全第一の基本は法令順守。法令は先人が長い時間をかけて培ったものの集大成であり、最低限守らなくてはならないもの。ルールを守り、全員が参加して安全活動をするというチームワークが大事だ」と述べ、法令順守と全員参加による取り組みの重要性を強調した。

[閉じる](#)

記事ID：3201907030712

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます